

高等学校 令和7年度 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：3 単位
 対象学年組：第2学年 組～組
 教科担当者：（1組： ）（2組： ）（3組： ）（4組： ）（5組： ）（6組： ）
 使用教科書：（「精選古典探究」 東京書籍 ）

教科 国語 の目標：
 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		語 文	書 読	読					
<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、正確に読み取るようとする。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 助動詞や助詞、呼応の副詞や係り結び等の文法事項を理解し、文章の内容や登場人物の心情を捉え、古文の面白さを理解する。 2 文章の内容や登場人物の心情を本文をもとに理解する。 3 時代背景、文化への理解を深める。 <p>・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 『宇治拾遺物語』 『小野篁、広才のこと』 『枕草子』 『中納言参り給ひて』 	○	○	○	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで古典特有の表現に注意して展開のおもしろさを味わい、学習課題に沿って、正確に読み取るようとしている。 	○	○	○	10
定期考査						○	○		1
<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとする。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本文を正しく音読する。 2 脚注・辞書等を参照し、語句・句法の意味・用法に注意して正しく現代語訳し、内容を理解する。 <p>・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 漢文 「先従隗始」 「不死之薬」 	○	○	○	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで漢文の読み方を確認し、学習課題に沿って、故事成語の果たす役割について考えようとする。 	○	○	○	5
<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歌物語の特徴および『伊勢物語』について、既習の事柄を整理する。 2 本文を現代語訳し、内容を読み取る。 3 「春日野の…」の歌と「陸奥の…」の歌を比較し、前者の表現の工夫をまとめる。 4 最終部の評語から、この章段の主題を考える。 <p>・教材等</p> <ul style="list-style-type: none"> 『伊勢物語』 「初冠」 「月やあらぬ」 	○	○	○	<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取るようとしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで文語の決まりと歌物語の特徴について正確に理解し、学習課題に沿って作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取るようとしている。 	○	○	○	10
定期考査						○	○		1
<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとする。 	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 話の概略を理解する。 2 「をば」を山に捨てるまでの男の気持ちなどがどのように変化しているかをまとめる。 				<p>【知識および技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について 				

<p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めようとする。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・「読むこと」において、歌物語に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、考えを深めようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>進んで歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、学習課題に沿って自らの考えを深めようとする。</p>	<p>3男が「をば」を迎えに行ってきたかけを読み取る。</p> <p>・教材等 『大和物語』 「嫉捨」</p>	<p>○ ○</p>	<p>て理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・「読むこと」において、歌物語に表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、考えを深めている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>進んで歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し、学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>【知識および技能】</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・表現の特色に注意しながら、随筆に表れている作者の考えを的確に捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>・進んで随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って自らの考えを深める。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 当時の時刻や方角の表し方を確認する。</p> <p>2 多彩な表現技法を確認する。</p> <p>3 焼失範囲を確認する。</p> <p>4 第一段落の記述の構成と内容を読み取る。</p> <p>5 文末に回想・伝聞の表現が使われている理由を考える。</p> <p>6 第二段落の作者の主張を読み取る。</p> <p>・教材等 『方丈記』 「安元の大火」 「日野山の閑居」</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識および技能】</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・表現の特色に注意しながら、随筆に表れている作者の考えを的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>・進んで随筆の特徴について理解し、学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>12</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>【知識および技能】</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価する。</p> <p>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>・進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>「出典・作者」の項を参考にして、作品と作者について必要な知識を得る。</p> <p>1 全体を通読し、現代語訳をする。</p> <p>2 敬語について理解する。</p> <p>3 物語世界がどのような状況であるかを理解する。</p> <p>4 物語の書き出しについて考える。</p> <p>・教材等 『源氏物語』 「光源氏の誕生」</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>【知識および技能】</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。</p> <p>・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>・進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し、学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>15</p>
<p>定期考査</p>				<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>【知識および技能】</p> <p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深める。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1 平安末期の混乱した時代背景についてまとめ、「忠度の都落ち」と「壇の浦の合戦」の『平家物語』における時代・時間的な位置づけを明らかにする</p> <p>2 全体の構成を意識しながら通読して、あらすじをつかむ。</p> <p>3 各場面の登場人物の心情を読み取る。</p> <p>・教材等 『平家物語』 「忠度の都落ち」</p>		<p>【知識および技能】</p> <p>古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。</p> <p>・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力】</p> <p>・「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品との関係性について考察しようとしている。</p>		

